

南知多町立学校新校舎
「みんなで考える 新しい学校づくり」ワークショップ報告書

1 開催日時

半 島 : 令和8年8月25日(月) 午後7時から午後9時まで
日間賀島 : 令和8年9月8日(火) 午後7時から午後9時まで
篠 島 : 令和8年9月10日(木) 午後7時から午後9時まで

2 開催場所

半 島 : 南知多町役場 大会議室
日間賀島 : 日間賀島公民館 集会室
篠 島 : 篠島開発総合センター 集会室

3 参加対象

町民

4 募集方法

LINE、町ホームページ、回覧板

5 実施目的

南知多町では、未来を担う子どもたちのため、新しい学校の建設に向けた検討を進めている。新しい南知多中学校の基本構想及び基本計画を策定するにあたり、地域のみなさまの意見を反映するため、ワークショップを開催した。

6 開催概要

【プログラム】

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 小学校機能を複合した南知多町立学校新校舎建設について
- (3) グループワーク

テーマ①：新校舎の建設方式について

「小学校・中学校を『同一棟』とする場合に期待すること・懸念すること」

テーマ②：学校施設の地域解放について

「学校施設が地域に開放されたら、どのように利用したいですか。」

- (4) グループ発表
- (5) 質疑応答
- (6) 閉会のあいさつ

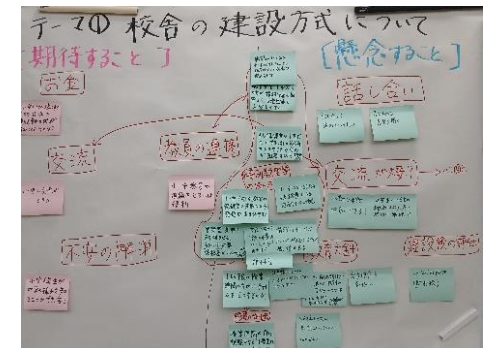
7 参加者

半 島 : 4名(1グループ)
日間賀島 : 11名(うち教員4名)(3グループ)
篠 島 : 15名(うち教員4名)(3グループ)

ワークショップの様子

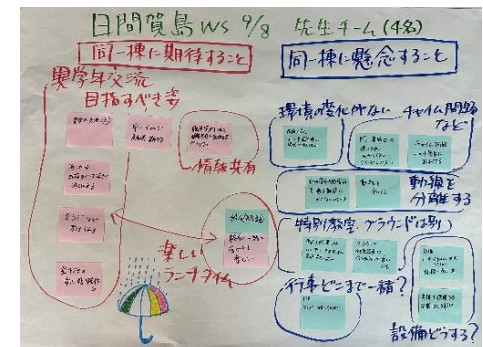
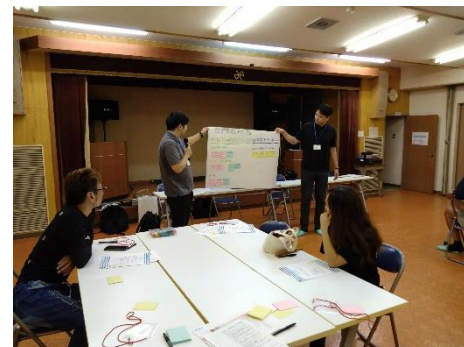
【半島】

職員室や保健室を1室にした場合の小中学生の利用のしやすさ、体格差による施設設備のサイズ問題など、特別教室の使い方について多くの意見が出た。また、学校施設をこれまでの体育館のように町民が利用できるのか、地域開放の仕組みづくりが課題となる話し合いとなった。



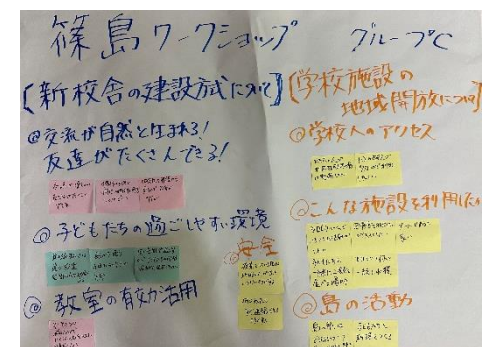
【日間賀島】

日間賀島の教員の参加もあり、チャイムの時間の違い、昇降口の使い方、小中学生の施設内動線、行事の合同開催など、日々の学校生活についての意見が出た。また、学校施設を地域開放する場合は、町民も使いやすいような交通手段があると良いという意見もあった。



【篠島】

島の学校での独自の学びや経験、島ならではの祭りはどのように残し、向き合っていくかの意見が出た。また、島民からは図書館、プール等の施設を利用したいという声が多くあったが、児童生徒の授業利用での安全面を優先させたい思いも意見に表れていた。



ワークショップの意見まとめ

	テーマ①：新校舎の建設方式について
期待すること	小中学生の交流・成長 ・小中学生の交流や異学年交流の機会が増える。 ・中学生が小学生の手本となり、面倒を見るなど、互いに成長できる。 ・合同行事や合同授業など、小中が連携した活動を行いやすい。 ・小学生が中学生の姿を身近に見ることで、進学後のイメージを持ちやすい。 ・中学校進学への不安や「中 1 ギャップ」の軽減が期待できる。 教員の連携・教育の充実 ・小中の教員が情報共有や連携をしやすくなる。 ・児童生徒の情報を継続的に共有し、丁寧な指導につなげられる。 ・小中をまたいだ授業や、教員の専門性を生かした授業が行いやすい。 安心して進学・生活できる環境 ・小学校段階から中学校の様子を知ることができ、安心感につながる。 ・顔見知りの児童生徒が多いことで安心して学校生活を送れる。 ・兄弟姉妹が同じ学校に通うことで、保護者も見守りやすい。 施設・設備の効率的な活用 ・特別教室や設備などを共用することで、効率的に利用できる。 ・空き教室等を少人数授業やクールダウンの場など柔軟に活用できる。 ・最新の ICT 設備など、充実した教育環境の整備。 整備・維持管理の効率化 ・小中を一体的に整備することで、建設費の削減が期待できる。 ・設備を共用することで、無駄の少ない施設とすることができる。

キーワード

○交流・成長

→異学年交流／小中交流／合同行事／合同授業／中学生が小学生の手本／一緒に成長

○進学・安心

→中 1 ギャップ軽減／中学校生活が見える／顔見知りで安心／進学イメージ

○教育・教員連携

→教員連携／情報共有／小中をまたいだ授業／専門性を生かした授業

○施設活用・効率化

→特別教室の共用／空き教室の活用／ICT／施設の有効活用／コスト削減

懸念すること	体格・年齢差への対応 ・小学生と中学生の体格差による安全面が心配。 ・机・椅子、理科室、体育器具、階段、トイレなど、小中で同じ設備を使用することへの懸念。 ・学年や年齢差を踏まえ、それぞれが過ごしやすい環境とする必要がある。 施設・設備の共用方法 ・特別教室、保健室、体育館、グラウンドなどを小中で共用できるのか懸念がある。 ・特別教室等は小中それぞれに設けた方がよい。 ・共用する場合、利用時間や予約、時間割の調整が複雑になる可能性がある。 ・部活動や地域利用との利用時間の重複も懸念される。 動線・生活空間の混在 ・小学生と中学生の動線を適切に分ける必要がある。 ・他学年の教室前を通るなど、学習環境が落ち着かなくなることが懸念される。 ・共用空間と小中それぞれの生活空間をどのようにゾーニングするか検討が必要。 ・一般利用者と児童生徒の動線が交差しないよう、安全面への配慮が必要。 学校生活・運営上の違い ・小学校と中学校では授業時間やチャイム、試験期間などが異なる。 ・中学校の試験や受験時に、小学生の活動が制限されることが懸念される。 ・行事をどこまで合同で行うのか整理が必要。 ・時間割編成や施設利用調整が複雑になることが心配される。 児童生徒の人間関係 ・小中学生間のトラブルやいじめ、上下関係が生じることへの懸念がある。 ・常に同じ人間関係が続くことで、関係が悪くなった場合に逃げ場なくなることが心配。 ・交流を増やす一方で、適切な距離を保てる環境も必要。 教育方針・学校運営 ・小中一貫校や義務教育学校、目指す学校のあり方や教育理念によって必要な施設構成が異なる。 ・職員室や保健室を一つにすることへの懸念がある。 ・子どもの意見も聞きながら検討してほしいという意見がある。
--------	--

○体格差・安全

→体格差／家具・設備のサイズ／階段・トイレ／体育器具／安全性

○施設共用

→特別教室／保健室／体育館／グラウンド／利用予約・調整

○学校運営

→時間割／チャイム／試験・受験／行事／職員室

○空間・動線

→動線分離／ゾーニング／生活空間／共用空間／音・物音

○人間関係

→上下関係／トラブル／いじめ／距離感／人間関係の固定化

	テーマ②：学校施設の地域開放について
活用したいこと	図書館・学習環境の開放 ・図書館を地域住民にも利用できるようにしてほしい。 ・学習室や勉強できる場所、学童など、子どもの学びの場として活用したい。 ・児童生徒が利用していない時間帯に地域開放するなど、学校利用との両立が必要。 ・司書など、施設を管理・運営する人員の配置も必要。 体育・運動施設の地域利用 ・体育館、グラウンド、プールなどを地域でも利用したい。 ・スイミングスクールや地域クラブ、習い事などへの活用も考えられる。 ・一方で、学校行事や部活動、既存の地域利用が制限されないかという懸念がある。 ・学校利用と地域利用の時間や利用ルールを整理する必要がある。 交流・地域活動の場 ・小中学生と地域住民が交流できる場所として活用したい。 ・多目的室、会議室、料理教室などを地域活動に利用したい。 ・地域の祭りやイベント、子どもと地域住民が一緒に行う活動の場として活用したい。 ・畑や花壇、飼育などを地域と連携して行うことも考えられる。 子どもの居場所・多目的利用 ・雨の日にも子どもが遊べる場所がほしい。 ・プログラミング、AI、料理など、学校外でも学べる機会がほしい。 ・多目的ルームや遊べる広場など、多様な活動に対応できる空間が求められる。 ・売店・喫茶やシャワー等、地域利用を支える機能を求める意見もある。 安全・セキュリティ ・地域利用者が学校の教育エリアへ入らないよう、動線や出入口を分ける必要がある。 ・授業中は地域利用者が児童生徒の生活空間へ立ち入らないようにする必要がある。 ・地域利用部分を別棟や独立したエリアとすることを求める意見もある。 ・鍵の管理や緊急時の連絡体制など、運用面の仕組みづくりが必要。 アクセス・交通 ・地域の人が利用しやすい駐車場を整備してほしい。 ・バスや船など公共交通の利便性を高めてほしい。 ・特に島からの利用については、船代や運行本数への配慮を求める意見がある。

※「学校施設が地域に開放されたらどのように活用したいか」をテーマに意見交換を行いました。意見交換の中では、活用方法に加え、地域開放にあたって大切にしたいことについても意見が挙げられたため、併せて整理しています。

活用したいこと	○図書館・学び →図書館開放／学習室／勉強できる環境／学童／学校以外での学び ○体育・運動 →体育館／グラウンド／プール／地域クラブ／スイミング・習い事 ○交流・地域活動 →多目的ルーム／会議室／料理教室／地域イベント・祭り／子どもと地域の交流 ○子どもの居場所 →雨の日の遊び場／遊べる広場／見守り／送迎／放課後の居場所 ○多様な活動 →プログラミング／AI 教室／花壇・飼育／畑・収穫／飲食・交流 ○アクセス・利便性 →駐車場／バス／船／船代負担軽減／交通の利便性／周知
大切にしたいこと・懸念	○安全・セキュリティ →出入口の分離／動線分離／授業中の立入制限／防犯／緊急時対応 ○学校利用との両立 →学校行事／部活動／体育館利用／グラウンド利用／地域利用との重複 ○管理・運営 →鍵管理／司書・管理人員／利用ルール／管理負担／施設管理 ○開放時間・利用条件 →休日開放／夜間利用／児童生徒がいない時間／利用時間の整理／開放範囲 ○空間・ゾーニング →校舎と開放エリアの分離／独立した空間／別棟化／共用・専用の整理／地域利用者の動線 ○既存利用への影響 →総合体育館利用への影響／自由利用の確保／学校利用優先／地域活動の継続